

## 〈解答〉

- ① 1 五  
2 のぎへん  
3 明日の昼休みに放送すればよい  
4 母は楽しそうに、踊っている娘を見ていた。  
5 〔例〕 防災訓練に関するアンケートを明日の昼休みにまとめて持つてくるよう、  
今日中に担当者に放送で（44字）

配点 各2点 10点満点

## 〈解説〉

- ① 1 「伝え／て／もらい／たかつ／た」という五つの単語に分けることができる。「たかつ」は助動詞「たい」の連用形である。
- 2 「のぎへん」は、「稻」「種」「穂」といった漢字に代表されるように、穀物や農業に関することを示す部首。ただし、「和」「利」という漢字の部首は「のぎへん」ではなく、それぞれ「くち」「りつとう」となるので注意する。
- 3 安部さんが、品川さんの指示をどのように受け取ったのか、その反応がわかる部分【会話文】の中から見つける。すると、【会話文】の冒頭にある品川さんの発言の中に、「明日の昼休みに放送すればよいと思ったので、今日はしませんでした」という安部さんの言葉が引用されているので、そこから抜き出す。
- 4 読点には、それを打つことで修飾語と被修飾語の関係を明らかにするという働きがある。「母は楽しそうに踊っている娘を見ていた。」という文に読点を打つ場合、「母は、楽しそうに踊っている娘を見ていた。」とすると、「楽しそうに」は「見ていた」にかかる連用修飾語になる。この文の述部「見ていた」の主語は「母は」であるため、「楽しそうに」を「見ていた」にかかる連用修飾語と受け取れるようにすれば、必然的に「楽しそうに」しているのも「母」ということになる。

- 5 品川さんの言葉が、安部さんにうまく伝わらなかった理由として、先生は、

- ・品川さんの言葉が、二通りの意味にとれるあいまいなものであったこと
  - ・品川さんの言葉に、説明する言葉が足りなかったことという二点を挙げている。
- その二つの問題を解決するには、
- ・あいまいさを取り除くこと
  - ・足りなかった言葉を補足すること
- が必要となるのだが、まず、あいまいさを避けるためには「修飾語と被修飾語をなるべく近づける」ことを意識すればよい、という先生の助言を参考にして、あいまいさを生み出すもとなっていた「明日の昼休みに」という修飾語を、被修飾語である「持つてくる」に近づけて表現するようにする。さらに、放送するのが「今日」であるという説明をしなかったために、誤解が生じたことをふまえて、放送するのが「今日」であることをきちんと補足した表現にすればよいのである。